



安全と安心の取組

Safety and Security

3. 自然災害・事故に備えた対策 降雪時の対策

多摩都市モノレールではゴムタイヤ走行をしています。降雪時にはタイヤの空転・滑走を防ぐため、以下の雪害対策により、安全を最優先とした運行に努めています。

運転規制の実施

降雪状況により時速35km以下での減速運転及び運転本数の間引き等を行います。

除雪装置の装着

降雪の際に、走行桁を除雪するためのブラシが付いた装置を取付けて運転しています。



除雪装置



除雪装置を使用した運転

凍結防止剤の散布

車載式の凍結防止剤散布装置を全車両に搭載し、営業運行中にも凍結防止剤を散布し路面凍結・圧雪の予防に努めています。



凍結防止剤散布装置

砂の散布

登坂時にはタイヤの空転防止のため、必要に応じ走行桁に砂をまきながら運行しています。



運転台に装備されている砂マキボタン

凍結防止列車の運行

降雪により路面凍結が予想される場合には、営業時間外にも凍結防止列車を臨時で運行し、凍結防止剤及び砂の散布を行い、タイヤの空転の原因となる凍結の防止を図っています。

鋼軌道桁への凍結防止用ヒーターの設置

軌道桁凍結は、上り勾配におけるタイヤの空転・滑走の原因となります。上り勾配区間の鋼軌道桁にヒーターを設置し凍結防止に努めています。

鋼軌道桁内ヒーター設置状況(イメージ)

